

国立大学図書館協会 東北地区協会主催 令和5年度職員研修
「これからも紙の本を守るために：大学図書館資料の修理と保存」
事後アンケート結果

回答数：93 件（回収率：81%）

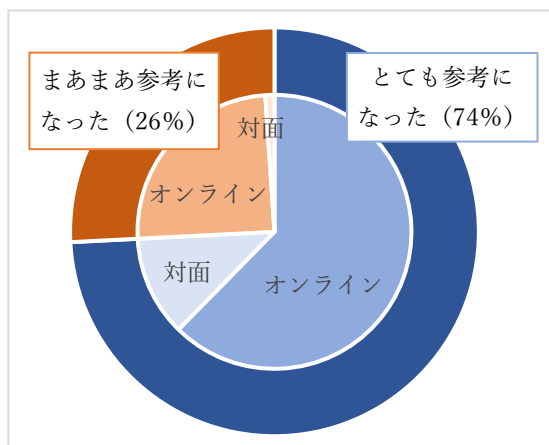
※自由記述式の回答は原文のまま掲載

1. ご参加のプログラムを選択してください。

	回答数	参考：当日参加者数
オンライン参加（講義のみ参加）	81	99(アクセス数)
対面参加（講義・実習の両方に参加）	12	16(名)

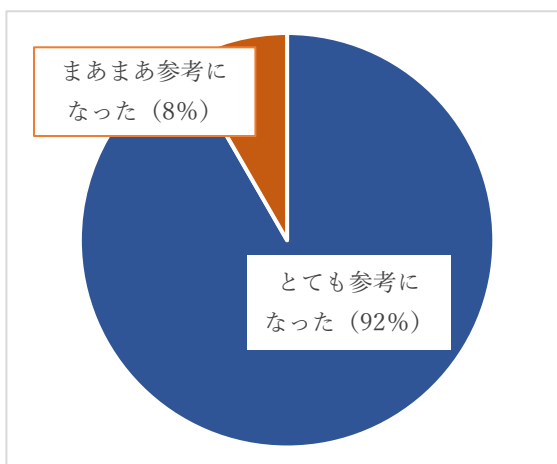
2. 各プログラムは参考になりましたか。

◆講義



■とても参考になった	69
オンライン視聴者	58
対面参加者	11
■まあまあ参考になった	24
オンライン視聴者	23
対面参加者	1
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0

◆実習



■とても参考になった	11
■まあまあ参考になった	1
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0

よろしければ、そのように選択した理由をお聞かせください。

◆オンライン：とても参考になった

- ・わかりやすかった。
- ・製本の方法や参考サイトまでお知らせいただき大変参考になりました
- ・修理の概念が従来の考え方から変革されたため
- ・講義に加え参考になる図書・サイトを紹介していただいたので、今後も学びやすいと感じました。
- ・修理の方法や修理そのものの可否判断についての基準を学べたため。
- ・修理に関して、基礎的なことから実際の修繕例まで広く知ることができたため。
- ・修理をするか否かを判断すること。今まではそれなしでほとんど闇雲に修理をしていたような気がします。少し気が楽になりました。
- ・「資料をいかに修理するか」以上に「資料を修理しなくても良いようにするにはどうすれば良いか」が大切であり、そのためにはどのような手段があるのか様々な情報源や実例を提示していただけたのが大変参考になりました。
- ・今回の研修では資料の修理と保存の基礎を学ぶことができました。早速、今日習ったことやご紹介いただいたサイト、図書でさらに学びを深めていきたいと強く思ったからです。
- ・今まで具体的な実践をもって話を伺ったことがなかったため、大変貴重なお話を聞くことが出来学びが深まりました。実際、業務では本の修理をしたことはありませんでしたが、本の取り扱いについて今後は気を付けていきたいと感じました。本日はどうもありがとうございました。
- ・修理を始めると基本を忘れがちになります。初心に帰りました。有難うございました。
- ・参考文献の紹介が役に立った。
- ・「完璧な修理は必要ないこともある」ということを知れたので。
- ・以前より気になっていたテーマだったから。
- ・破損等があれば修理をした方が望ましいと考えていましたが、修理は最低限で良いと知ることができました。「表紙は外れたままでよい」という言葉が印象的でした。
- ・古書以外の修復について専門的に知る初めての機会だったので
- ・修理の研修を一度も受けたことがなかったこと、また参考資料をたくさん紹介してくれたので。
- ・修理の基礎知識が無いので、参考図書などを紹介して頂けたのが良かったです。
- ・業務で製本を担当しており、製本雑誌を手にする機会が多く、日々の本の取り扱い方について学ぶことができ勉強になりました。
- ・どのような疑問についてどの資料を参照したらよいか、たくさん具体的に挙げていただき、大変参考になりました。
- ・修理の知識・技術を身につけるための参考資料を教えていただいたので、とても参考になりました。
- ・参考になる情報もたくさんいただけたため

- ・ 日常業務で、修理はつきものだが、一つ一つのケースに応じて、適切な方法を判断しなければならぬので、その際の判断基準の目安（3つの要素と5つの方策）を頂くことができた
- ・ 資料の保存方法や修理・汚損時の対応について詳しくご説明いただいたので疑問が解決したため。
- ・ 修理の方法は勉強したり調べたしていたのですが、そもそもなぜ破損するのか、修理はどこまですべきなのかという、根本的なことはちゃんと考えたことがありませんでした。(壊れたら直すと考えていました)今回、その根本的な考えを知ることができ、とても勉強になりました。
- ・ 基本的な考え方と、参考資料を多く提示いただいたため。
- ・ 修理を実際に行ったことが無いため、資料劣化の原因や配架の際の注意事項など、修理の前段階の背景からご説明いただけて、修理・保存の基礎的知識が身に付きました。
- ・ 傷む前に「防ぐ」という観点が足りなかったと気づかされました。当館では利用者への啓発が不足してるのかもしれませんが。英語の多読図書や問題集の水濡れが多いので、降雨時の声掛けなどを積極的にしていきたいと思いました。
- ・ 壊れてしまった図書は、必ず治してその後できるだけ長く利用できるように。と思っていたので、その考え方を改める良い機会となった。
- ・ 自身の中で今までになかった視点や考え方を学ぶことができたからです。
- ・ 事前アンケートの質問回答集がとても参考になりました
- ・ 具体的な事例紹介がたくさんあったため。
- ・ 時々修理をすることがあるくらいですが修理に詳しいスタッフが異動してからはその方から言われた可逆性や手を加えるのは最小限にというアドバイスを元にしつつも試行錯誤しながらしています。確認しつつ基本も抑えながらアレンジするというのは勉強になります。
- ・ 細かい修理技法ももちろん大切ですが、もっと大きな目線で考えることも大事なことだと気づかされました。つい「前やった修理と同じやり方でいけそうだから」と思ってどんどん修理候補としてため込んでしまって、結局修理が追い付かずなかなか利用に戻せない、ということも多くなっています。「本当に必要なことか？」を考えるのも必要だなと思いました。
- ・ 「修理」することのみに気が向いていたが、「保存」の観点からもっと広く考えるべきだと知ることが出来ました。
- ・ 修理と保存、の前に、そもそもなぜ傷むのか、内外的要因の解説など丁寧に行ってください、不適切な取扱いには身に覚えがありました。まずは傷ませないことも大切だと思いました。オンラインでもとてもためになりました。
- ・ 資料が傷む原因を知ることができ、今後修理する際の参考になりました。
- ・ 修理のそもそもの目的と大原則（オリジナルの尊重・利用に支障がある部分だけ必要最小限の修理）が明確に示され、何でも「美しく修理したほうがよい」という考えに陥りがちだったことに気が付けた
- ・ 丁寧にわかりやすい内容で、大変参考になりました。

- ・説明がとても分かりやすく、文献の紹介もたくさんあり、今後の学びに役立つ研修でした。
- ・資料の保存は必ずしも”修理”や”補修”をすることだけではないということを学ぶことができ、とても参考になりました。
- ・すぐに使える実用的な方策が満載でした。
- ・直すばかりが本のためになるとも限らないのだと知れたことです。
- ・修理に関して知識が全くない状態で参加したので、初歩の部分から説明していただけたので良かった。
- ・参考になるページなどを教えてもらい、自分でもやってみたい気持ちになった
- ・保存修理の原則を思い出す良い機会になった。
- ・資料の修理以前に、普段の資料の取り扱い方や環境の整備が大事だと気付かされたため。一度にはできないが、やれることから少しずつ始めていこうと思えた。
- ・本の保存に関して新たな情報を得られたから。
- ・本は利用されても、利用されなくても、何らかの劣化は避けることができないものだと思いますが、永く保存していくために必要な対応を学ぶことができました。
- ・修理に関する様々なサイトも紹介していただき、大変参考になりました。

◆オンライン：まあまあ参考になった

- ・普段の修理に生かせる内容だった。が対面で実際に修理してみたらもっとわかっただろう。
- ・タイトルから修理の基礎に関するお話を期待していましたが、オンラインの部では具体的な話が伺えませんでした。一方で、修理は必ずしも積極的に行うべき対処ではない(?)というお考えについては、参考にさせていただくべきなのだろうと考えました。
- ・Q&Aの回答が実践的で参考になったが、閲覧カウンター業務と並行して受講していたので、利用者対応ですべて聞けなかったのがとても残念でした。
- ・できれば対面で参加して実際に修理を学びたかったができなかったので
- ・つい何かあった時に補修をしたなるが、必ずしもそれが良いというわけではない、ということを改めて確認できたから。また「除菌機が必要かどうか」という話題は目から鱗でした。
- ・紙の資料の修理について、もう一度学び直しの機会となったから
- ・修理本の紹介など参考になりました。ただ、もう少し修理の実演が欲しかったです。
- ・資料の汎用性、修理時間を考慮して購入を検討する、破損前に対応する、修理よりそのまま保存、など心構えが変わったから。
- ・基本的な内容から教えていただき、参考文献の案内も多数あったため。
- ・講師の方の、大学図書館資料の修理に対する考え方を知ることが出来て良かった。修理道具や材料（紙の種類など）の選び方については具体例も知りたかった。
- ・本を修理することを考えてましたが、修理しないための保存方法にも注力することを改めて考えさせていただきました。

・修理すれば良いということだけではないこと、普段から資料の扱い方を含めた予防など、参考になりました。

◆対面：とても参考になった

・資料や画面で見るだけではわかりづらい過程が、実際近くで見ながら実習することができ大変勉強になりました。

・サービス担当になったら修復を担当するかもしれないと思い参加いたしました。実際の除籍本を用いた研修で自分のできなさをまざまざと感じ、必要な時にいきなりやらなくてよかったと心底思いました。参考文献をたくさん挙げていただいたので必要な時にまた参照することができそうです。

・講義で修復に関する基本的な考え方を学び、実習で実際に本を壊してそれを修復する作業を体験できたため。

・資料を"利用のために"長く保存するという広い視野を得ることができた。特に、資料の破損があった際に短絡的に修理と考えるのではなく、利用形態に応じて袋や箱に入れるなどの手段をとれると知ったことが大きい。

・自分は本の修理の経験が浅いので、講義で修理の基本について学んだあとに実習で修理を体験できたのはとても参考になりました。

・講義に加え、いろいろな例をもとに実習することができ、今後の業務に活かせると感じたため。

・当館では地震で落下し破損した資料がかなりあります。業者に修理を依頼しているものもありますが、今回の実習が役立ちそうな、自分たちで救えそうな資料がたくさんあります。

また、修理にあたって意識しておく「3つ」と「5つ」も参考になりました。

・和紙を使って修理した経験が無かったので、この機会にできて良かった。

・本の修復のポリシーや方法を学習でき、今後の業務に役立てることができそうです。

・講義本題はもとより参考文献として教示いただいた資料も活用させていただくことで、知識をさらに深める機会を得ることが出来、とても充実した時間でした。また実習においても、先生が修理する工程を実際に拝見できたことは、貴重な体験でした。あっという間の時間で、もっと学びたいという欲に駆られましたが、講義・実習で学んだことを活かし発展できるよう今後につなげたいと思います。勉強させていただきました。

・修理について学べる機会がなかったため、研修のおかげで基礎を知ることができたため。

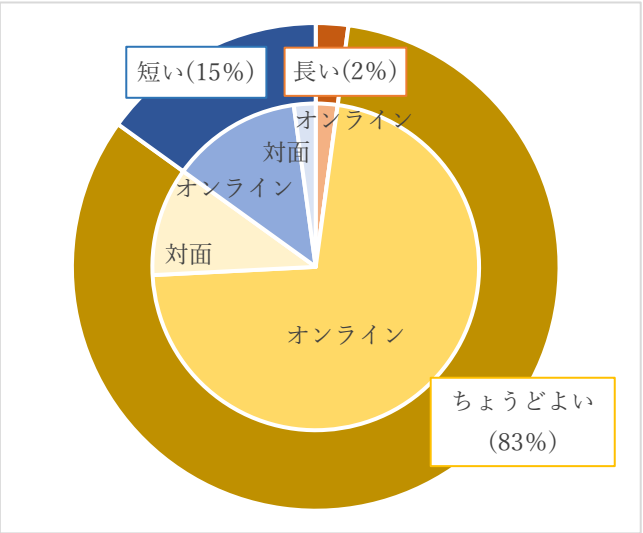
◆対面：まあまあ参考になった

・講師の先生も仰っていたように、今回の研修はきっかけとなる入口であって、提示いただいた参考資料などを基に自分たちで調べて学ばなければならないと感じる研修でした。きっかけとしては十分参考になりましたが、事前質問も受け付けられていたため、研修中に何らかの回答が得られるのではないかと期待して参加した身としては、講義中に直接的な回答が得られておら

ず、ご提示いただいた参考 URL の内容を学習しきれていない現時点では、とても参考になったと回答しがたいです。

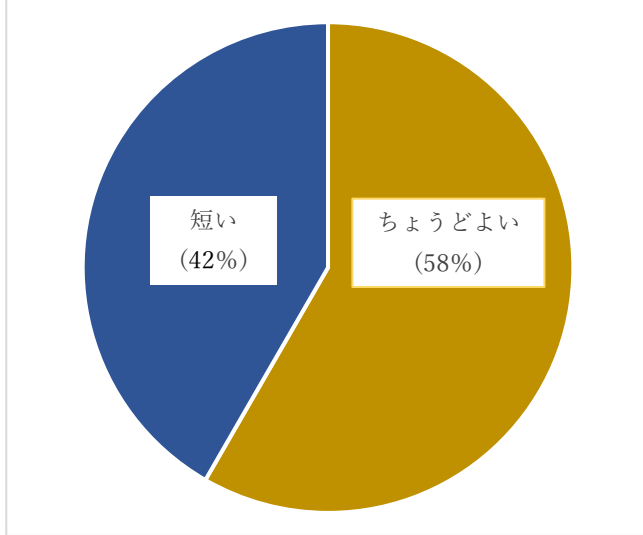
3. 各プログラムの長さはいかがでしたか。

◆講義



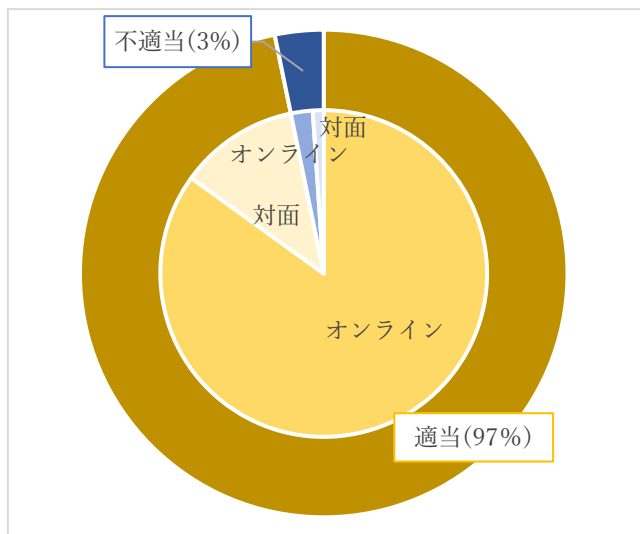
■ちょうどよい	77
オンライン視聴者	67
対面参加者	10
■短い	14
オンライン視聴者	12
対面参加者	2
■長い	2
オンライン視聴者	2
対面参加者	0

◆実習



■ちょうどよい	7
■短い	5
■長い	0

4. 研修の開催時期はいかがでしたか。



■ 適当	90
オンライン視聴者	79
対面参加者	11
■ 不適当	3
オンライン視聴者	2
対面参加者	1

【不適当と回答された方にお聞きします】 理由やご希望の時期などがありましたらお知らせください。

- ・ 今回の内容では、もう少し早い時期（5～6月）での開催がよいかと思いました。
- ・ 業務が重なる時期・時間帯のため9～11月頃の午前中を希望

5. 今回の研修内容に関して、講師へのご質問がありましたらご記入ください。

→別紙「事後アンケートで寄せられた質問と回答」を参照ください。

<講師へのご感想など>

- ・ 大変参考になる講義を聞かせていただき、ありがとうございました。
- ・ Q&A でご回答いただきました。ありがとうございました。

6. 今回の研修へのご意見・ご感想等をご記入ください。

◆オンライン参加の方

- ・ 修理の実際の研修も配信で覗いてみたかったです。そして時間通りに終わられたことが素晴らしい…！ 参考資料もたくさん紹介していただいてありがたかったです。
- ・ 駆け足ではありましたが、濃い内容でとてもためになりました。ここで終わらせず、また明日からの業務につなげていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 講義受講後の自己研鑽と周囲を巻き込む努力が今後の業務改善とスキル向上につながることを実感させられました。日常業務以外でも時間を取って励まれている講師に感謝いたします
- ・ 遠隔でも開催していただけたので、九州からも拝聴することができました。誠にありがとうございました。

・書庫の環境が非常に重要であると感じた。利用者の資料の扱いへのマナーや地道な注意喚起が資料を守ることにつながる事例を拝聴し、貸出しのレシートに最低限守ってほしいマナーを印字する方法もあると思いました。

・身近な問題で、大変参考になった

・具体例が満載の話で非常に有意義であった。これからにつながる研修だったと感じる。

・実習に参加したかったのですが、遠方のため断念しました。オンラインで実習をみせていただけたら更に良かったと思います。

・講義部分はオンライン配信をしていただけたので、現地へ行かなくても前半部分だけは受講することができてありがたかったです。今回挙げられた参考文献等を確認し、実際の業務に生かせるようにしたいと思います。ありがとうございました。

・できれば、実習風景も見たかったです。

・今回は実技の講習を受けることができませんでしたが、オンラインの部分だけでも十分参考になりました。貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

・同上（今まで具体的な実践をもって話を伺ったことがなかったため、大変貴重なお話を聞くことが出来学びが深まりました。実際、業務では本の修理をしたことはありませんでしたが、本の取り扱いについて今後は気を付けていきたいと感じました。本日はどうもありがとうございました。）

・関連事項が載った URL や参考図書の紹介があり、役に立つと思いました。この場で終わる研修ではなく、続けて学べそうなのでよかったと思います。

・自身が以前に覚えていたことが間違っていなかったことを再確認できたのが良かったです。その他に、目から鱗が落ちるお話もあり、とても勉強になりました。

私は聴覚障害なので、字幕付きで研修を受けられたのはとても嬉しかったです。

ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

・そもそもの修理しなくても良いのでは、といった考え方に大いに納得させられた。また、参考になる図書や URL をたくさん紹介してもらえたので今後に繋がる収穫を得られた。

・締切後に申込をさせていただき、本当にありがとうございました。次回、機会がありましたら修理の実習にも参加したいと思います。

・基本的な事を教えて頂きとても参考になりました。修理に関する事をもう少し聞きたかったですが、いろいろためになる文献を教えて頂けたので勉強します。

・対面での実習に参加できる人数をもう少し増やしていただければ幸いです。もしくは、複数回、実習に参加できる機会を設けて頂ければと思います。図書館職員の多くが実際に本を手に取り作業することが多いので、修理・保存の技能の伝承・習得のためにも多くの研修の機会があれば、日々の業務に活かせるのではないかと感じました。

・講義部分は、それぞれの自習でも良かったように思います。講師の方が実際に修理作業をされている様子を配信いただき、その後、現地で実習という流れだとより良かったです。

・オンラインで質問させていただいたのですが、HPのリンク先をご紹介いただきまして質問について返答をいただけたこと、とても参考になりました。今回の研修で紹介された本を読んだり、実際に修理・汚損本対応を行ってみたりと現場で働いている間にできることはできるうちにやっていきたいと思います。貴重な研修に参加させていただきまして、ありがとうございます。

・オンラインでも聞けて良かったと思いました。今度は実習も受けてみたいと思いました。

・遠方からの参加でしたのでやむを得ないのですが、実習場面をぜひ拝見したかったです。

・図書の修理は必要最低限。やらなくて良い修理はやらない。というのは目からうろこでした。壊れてしまった資料の「3つの要素」について考えることの大切さを理解しました。また、図書の修理をしなくても済むように予防に力を入れたいと思います。

・資料が見やすく、内容も分かりやすく、有意義な時間になりました。ありがとうございます。

・資料の取り扱いについて、あらためて気を付け、まずは予防対策に取り組んでいこうと思いました。貴重な研修の機会をいただきまして、ありがとうございました。

・どの資料を読めばいいのだろう？と思うことが多々あったので参考資料をあげただいてありがとうございます。

・横山先生の語り口が優しく、かつおもしろく、とても引き込まれました。またお話を伺えればと思います。

・修理するために必要な知識を知るための資料等を教えていただき、大変参考になりました。

参加可能な開催地での開催がありましたら、ぜひ対面参加もしたいと思いました。

・研修に参加させていただきありがとうございました。修理に関して、また気を改めて学ばなくてはと思う、とても良いきっかけになりました。

・修理と保存というテーマを短い時間で理論的に様々な角度からお話いただき、大変参考になりました。日々の業務で疑問に思っていたこともご説明いただき、参加して本当に良かったです。ご紹介いただいた図書をこれから読み進めていき、学び続けたいと思います。

・これまでは破損している資料に対してすぐに修理や補修が第一に必要なだと思こんでおりましたが、今回の研修で『利用のための資料保存』という原則があることを知り、修理への考え方が変わりました。いかにバランスを崩さず資料にできるだけ負担をかけないように修理をするか、そもそもこの資料には修理が必要なのかどうか(代替保存など)、損傷しないためにはどのように資料を取り扱っていくのか、、、資料保存のために多角的な視点を持ちたいと思いました。この度は、貴重なお時間をいただき、このような機会を設けていただきましてありがとうございます。

・あっという間の一時間半でした。分かりやすく、聞きやすく、すぐにでも実行したくなるヒントがたくさんありました。またご講義いただきたく、別のトピックでも是非お願いいたします。

・直す＝守るではなく、長く利用できるように、保存できるように、修理よりも予防に力を入れる必要があるということを改めて学ぶことが出来てとても良かったです。また、普段何気なく行

っている行動が本に負荷をかけてしまっていることも学べたので、今後一層気を付けて本を扱っていきたいと思います。また、もし機会があれば、今度は対面形式で修理の仕方も学んでみたいと思いました。

- ・短い時間のなかで、参考資料等も示していただき、今後の学びにつながる研修となりました。
- ・国大図協の他のシンポジウムと時間帯が重なったので、今後重ならないように調整をしていただけると助かります。
- ・講義のみオンラインで参加したが、有意義だった。時間的にはきついと思われるが、他の図書館でどのような資料保存を行っているか、具体例があれば知りたかった。
- ・これまで漠然と考えていたことを系統立てて説明していただいたことで、私の中でも系統立てて考えられるようになりました。
- ・資料を直接修理する担当の係ではないが、分類の修正でラベルを貼りかえることがあるため、今回の回答で資料を傷めそうなら無理にはがす必要はない、はがさないという選択があると聞いて大変参考になった。
- ・必ずしもフルで修理しなくても良い、部分修理でも良い。保存箱に入れて保存も視野に入れようと思う。
- ・簡潔でわかりやすくお話いただき参考になりました。
- ・やっぱり経験を積むしかないと思うので、難しいとは思いますが、対面での開催をもっと増やしていただけるとありがたいです。
- ・普段、なかなか研修を受ける機会がないので、定期的にこのような研修機会があると良いなと思います。できればアーカイブ配信もあると、なお良いです。
- ・オンラインで参加しました。破損初期の修理や、箱や封筒に入れて保存することは今までも行っていましたが、それに加え資料の修理をするスタッフが増えてきております。今回の研修内容や紹介された資料を皆にも伝え役立てていきたいと思っています。ありがとうございました。
- ・今回はオンラインで参加でした。手元が映るのであれば、実際の本の修理も見なかったです。なかなか難しいとは思いますが、この場合はこのように修理しますといった実演が欲しかったです。
- ・勉強になりました。

◆対面参加の方

- ・修理の業務は自己流が多く、これでいいのかと思いながら修理していた部分があったので、先生の講義はもちろん、参加者の方の質問も大変参考になりました。
- ・特に実習が有意義でした。文献を見てもよくわからない動きが、実際に先生の手元を見れましたし要する時間もおおよそわかりました。背を削るときの手間のかけ方や糊の塗り方など細かいところが拝見できたのが良かったです。（今後への要望です。インフルやコロナがまだ収まらないなかで懇親会を企画するのは躊躇するところと思いますが、せっかく対面で開催できたので、飲食なしでの懇談の機会があるとよいなと思いました。）

・資料の保存においては、前提としてまずは予防が大切だということ。そして修理する場合でもオリジナリティを尊重するという考えから、「ただ壊れたら修理する」という単純なものではないと改めて学ぶことができました。実習を通しては、自分のスキルはもちろんですが、必要に応じた道具や材料の見極めも大切だと感じました。実際にやってみると、シワがよってしまったりなかなかくっつかなかったりと難しく、同時に次はどうすればうまくできるか考える楽しさもありました。参考資料を豊富に紹介していただいたので、参考にしながらスキルを身に付けていきたいと思います。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

・本の修理について理解を深めることができる研修でした。特に、修理の必要性について、私は壊れたらすぐに修復しなければならないものだと思っていたので、文書箱に入れるなどあえて修理せずに置いておくという保管方法もあるということ、そもそも修復は最小限におさえるのがいいということを知れてよかったです。実習の時間もあり、学んだことをすぐにこれから活かそうと嬉しく思います。また、講義の中で紹介していただいた図書はすべて勤務している図書館に所蔵があるものだったので、これから読んでさらに知識をつけたいと思います。

・普段から資料の修理をしています。これまでこのような研修の機会がなく、自分で本を読んだり東京都立図書館などのホームページを参考にして学んできました。誤った修理方法が身に付いていないか不安でしたが、研修で確認することができ安心しました。今回学んだ「3つの要素」と「5つの方策」を頭に入れ、今後の業務に活かしていきたいと思います。

・とても参考になり、すぐに役立つ研修内容でした。大変ありがとうございました。特に実習は、自館の資料が目につかび、あれもこれも修理できそうだなと思いながら行いました。また自館に戻ってからは、すぐに他の職員と実習する時間を作ってもらえたので、皆で修理の考え方や技術を身に付けていきたいと思います。

・実習の時間がもう少し長くてよかった。

・講義だけではなく実習ができ、また講師の先生のデモンストレーションを見ることができとてもよかったと思います。

・初心者向けに、補修に使う基本的な道具の紹介（画像付きの一覧）などがあるとよかったように思います。

・対面での講習会に初めて参加させていただきました。質疑応答の際に、それぞれの大学図書館が抱える実情はさまざまかと思いますが、少しなりとも感じれた部分がありました。対面にてさらなる意見交換等の時間の場を今後設けていただけると大変嬉しい限りであり、実現を願うところです。午後からの研修にて、夕方の終了後にお声をかけるのは難しく感じました。有意義な時間・経験を頂戴したことをしっかり職場に広め、またこの時間で終わらせるのではなく、今後の業務につなげられるよう取り組んでいきたいです。今回の研修に携わってくださったすべての方々に心より感謝いたします。ありがとうございました。

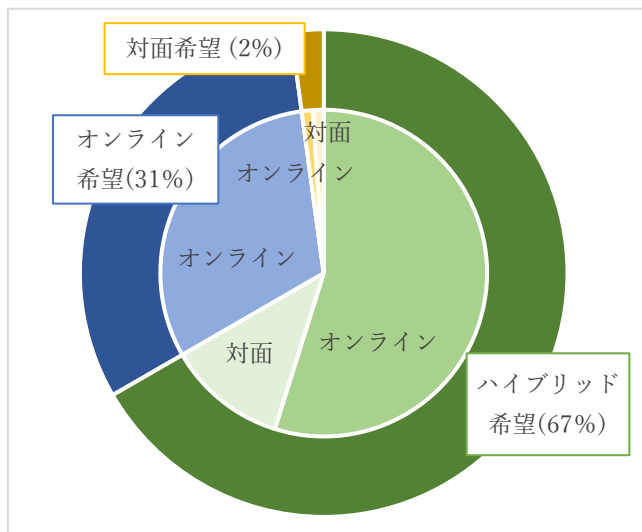
・講義も実習も時間が足りないと感じた。内容は基礎を中心だったが知りたい所を知ることができた。実習に時間をかけて教えていただけたらと思った。

7. 今後学んでみたいテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・テーマ希望ではないが、今回のような実技を伴う研修では実技の動画を後日配信してもらえると助かる。実際の研修場面ではなく、講師等の実技見本のような動画があるとよいと思う
- ・状態と処置が一对一对応ではないと仰っておられたとおり、修理の方法は画一的なものではないと承知しておりますが、出来れば資料を実際に修復している手元の様子をオンラインで配信していただきたく希望いたします。
- ・修理（実習）、ガイダンスの実施方法（大学生が望むガイダンス形式について）
- ・修理を対面でやってみたい。関西でも是非開催してほしい。
- ・破損事例とその修理事例を写真を付けて紹介するようなものがあれば是非参加させていただきたいです。
- ・和漢古書に関する講習
- ・裏打ちなど、古書の補修も経験したいです。
- ・資料保存の環境整備について限られた時間と予算のなかで、各図書館で具体的にどのような工夫をしているのかを知る機会があればうれしいです。
- ・貴重書の保存・管理
- ・今回は一般的な資料（図書）の修理に関する研修でしたが、資料を取り巻く環境の管理についても学びたいです。また、一般的な図書・雑誌だけでなく貴重書として扱う和古書・洋書も所蔵し、図書職員が管理しているので、そういった貴重書の維持管理についても学ぶ機会があると有難いです。
- ・カビについて。予防、発生後の対応、利用時の注意点など。
- ・資料の修理と保存 基礎と応用
- ・カウンターにおける接遇
- ・利用者（特に学外者）からのクレーム対応
- ・クレーム対応
- ・図書館ごとにシステムが違うので難しいと思いますが。利用者の探している情報が、どの本に載っているのか、本の探し方が知りたいです。
- ・レファレンスや目録作成について
- ・目録の登録の仕方(並立書誌が出来て、どちらに所蔵をつけていいのか悩むことが多々あるので…)
- ・広報や洋書目録の書誌作成における多言語の重要用語習得、英語による利用者対応（英会話）
- ・大学図書館が必要とされているのか存続について
- ・今後の図書館の在り方のようなテーマ（コロナ後、大学の授業や学生生活は変化しているので、その状況を知る必要があるのでは。漠然としていてすみません。）
- ・ILL について
- ・利用者教育

- ・電子ジャーナル・電子ブックの利用促進
- ・本の著作権

8. 今後の研修の開催方法について、お聞かせください。



■ オンラインと対面のハイブリッド開催を希望	62
オンライン視聴者	51
対面参加者	11
■ オンラインを希望	29
オンライン視聴者	29
対面参加者	0
■ 対面（現地開催）を希望	2
オンライン視聴者	1
対面参加者	1